



2026

5月
第240号

令和8年5月7日発行

西海市社協だより
Saikai City of Welfare with Scrum

スケッターさん活躍中!



原爆ホームかめだけ(西彼地区)にて
活動中のスケッターさんの様子

関連記事
P6

に向けて

西海市社協の理事会・評議員会で令和8年度の基本方針を協議し、今年度の事業計画と予算が決定しました。概要についてお知らせします。

今年度の重点事業

社協は、誰もが支え合いながら安心して暮らすことができる「ともに生きる豊かな地域社会」づくりに向けて、市民やさまざまな機関・団体と連携しながら次の事項を重点に活動します。

1 第4期西海市地域福祉活動計画に基づき、関係者と連携した地域福祉連絡会を開催し、「住民主体の「ともに生きる豊かな地域社会」の実現を推進します。

2 重層的支援体制整備事業および生活支援体制整備事業と連携し、生活困窮者支援をはじめとした包括的な支援体制の構築と地域づくりを推進します。

3 ボランティアセンター機能の強化とスケッチブック活用により、市民参加と福祉人材の裾野拡大を推進します。

4 保護者や子どものニーズに合わせた保育所運営を目指し、地域一体となって子どもの育ちを支える保育環境を整えます。

5 地域に密着した介護保険事業の展開とICT活用による業務効率化を推進し、経営基盤の安定化と利用者を選ばれるサービスの実現を図ります。

6 市内の医療・福祉関係者と協働事業を展開し、安心して暮らせる地域づくりを行います。



横瀬保育所を経営

こんな福祉活動も

- 生活福祉資金等貸付事業
- 配食サービス事業
- 福祉体験や介護教室などの福祉出前講座の実施
- 判断能力が不十分で権利侵害を受けやすい方の福祉サービスの利用援助や金銭管理
- 病院や施設からの一時外泊時の介護、通院介助など社協独自の生活支援サービス
- 学童保育事業
- ファミリー・サポート・センター
- ひとり暮らし高齢者の方などへの交流の場の提供
- 高齢者福祉サービス事業調査
- 生活困窮者自立相談支援事業
- ひきこもりの方の把握と支援
- イベント等用具や介護機器、チャイルドシート等の貸し出し

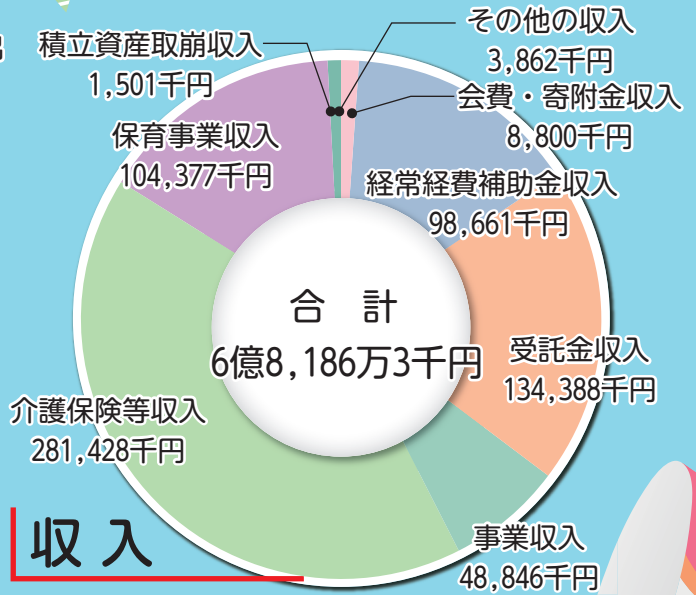
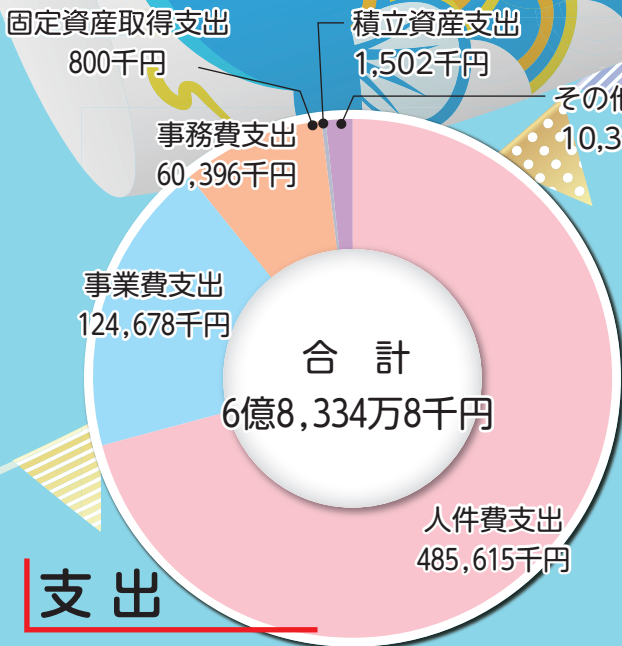


高齢者の生きがいを支援

ともに生きる

令和8年度 社協の方向性

豊かな地域社会づくり



用語の説明

- ▼会費・寄附金収入
社協会費及び香典返し、一般寄付
- ▼経常経費補助金収入
西海市からの社協運営費補助金、共同募金配分金
- ▼受託金収入
西海市・県社協からの受託事業、指定管理事業の運営費
- ▼事業収入
配食事業の利用料他
- ▼介護保険等収入
介護保険サービス等の介護報酬、利用料他
- ▼保育事業収入
横瀬保育所の委託費等
- ▼積立資産取崩収入
積立資産の取り崩し収入
- ▼人件費支出
職員178人分の人件費
- ▼事業費支出
事業に直接係る経費（例：車両維持費、配食材料費等）
- ▼事務費支出
事務に係る経費（例：通信費、事務用品等）
- ▼固定資産取得支出
器具及び備品取得費他

新年度予算

令和8年度の予算は収入約6億8千186万円、支出約6億8千3百34万円。

収入では、介護保険等収入が最も多く、市や県社協からの受託金や指定管理事業の運営費、経常経費補助金収入、保育事業収入等が多くなっています。

支出では、主に福祉サービスを提供する職員の人件費が大部分を占めています。

令和8年度はマイナスの予算編成となっております。市民のニーズに対応したサービス提供で事業収入増を目指し、併せて経費節減に努めながら地域福祉の推進に取り組みます。市民の皆さまには地域福祉の財源である社協会費やご寄付の協力を引き続きお願い致します。



地域の未来を支える連携へ

―協働事業報告会を開催―

3/21



報告会で説明をする北島共同代表

さいかいウェルビーイングネットワーク(SWN)は、西海総合福祉センターにおいて「令和7年度西海市医療福祉事業者グループ協働事業報告会」を開催。医療・福祉関係者の他、西海市長、国会議員、県長寿社会課長など約70名が参加しました。

本報告会は、令和7年度に実施した①社協コクピット機能整備、②医療福祉情報プラットフォーム構築、③地域移動支援モデル、④SWNブランディングの

4事業の成果を共有するとともに、西海市の将来における医療福祉の課題を関係者で共通理解し、次年度に向けた展望と連携強化を図ることを目的に開催されました。

はじめに、SWN代表の宮崎社協会長の挨拶に続き、共同代表である西海市福祉施設連絡協議会の北島会長が、「地域福祉の未来を紡ぐ」と題し、令和6年度から7年度にかけての事業経過と本年度事業の全体像について説明が行われ、各プロジェクトの位置づけや狙いが共有されました。

プロジェクト報告では、コクピット機能の一環であるスケッチターの経過報告や事業企画提言書を通じた多機関連携の取組みの紹介、ICTを活用した情報の一元化・リアルタイム化・安全な共有の可能性の検証、地域移動支援の実装に向けたガイドラインの策定

などが報告されました。また、SWNブランディングでは、西海市らしい未来像「北極星」を共有し、ビジョンやスローガン、動画制作など発信力の強化についても紹介され、各報告に対し専門家から助言もありました。

意見交換では、人材不足への対応策として「スケッチター」への関心が高く、市内外の参加状況や属性に関する質問等があげられ、担い手の裾野拡大への期待を寄せる声が多く聞かれました。

最後に県担当課長より、県補助金を活用した先進的な取組への評価と今後への期待が述べられました。

本報告会は、関係機関が方向性を共有し、連携の重要性を再確認する機会となり、今後の協働のさらなる推進につながるものとなりました。



令和7年9月4日に歩みだしたSWN 10事業所紹介 (50音順)

- 合同会社ウェルビー (グループホームよこせ)
- 合同会社well-being (訪問看護ステーションウェルビー)
- 社会福祉法人 西海市社会福祉協議会
- 医療法人 西海メディケアブリッジ (大島ながたクリニック)
- 社会福祉法人 さくら会 (障害者支援施設こぞくら学園)
- 社会福祉法人 寿泉会 (特別養護老人ホーム海風荘)
- 有限会社スローライフ・プランニング (グループホームぎんなん)
- 公益財団法人 被爆者福祉会 (原爆被爆者特別養護ホームかめだけ)
- 社会福祉法人 ふるさと (特別養護老人ホームふるさと)
- 医療法人 萌愛会 (長崎セント・ノーヴァ病院)



昨年11月15日開催の移動支援ワークショップの様子



5月12日は民生委員・児童委員の日

5月12日～18日は活動強化週間

子育てや介護の悩みを抱える人や、障がいのある方・高齢者などが孤立し、必要な支援を受けられないケースがあります。そこで民生委員・児童委員が地域住民の身近な相談相手となり、支援を必要とする住民と行政や専門機関をつなぐパイプ役を務めます。西海市には105人（4月末現在）の民生委員・児童委員が地域住民の生活を見守っています。



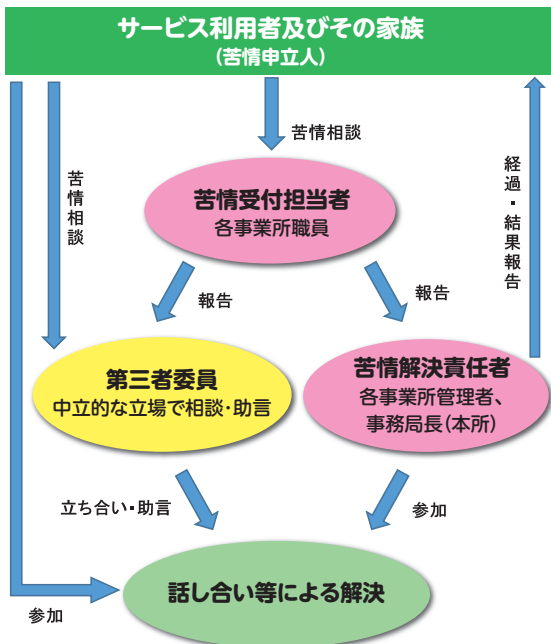
崎戸地区民生委員児童委員協議会
会長 増山 和行さん



5月12日は民生委員・児童委員の日
大正6年5月12日に民生委員児童委員制度の前身である岡山県済世顧問制度が創設されたことに由来して定められました。

崎戸地区には江島・平島を含め13人の民生委員・児童委員がいます。
「民生委員になって10年色々あったが、最近ひとり暮らしの高齢者がヒートショックでなくなるが続いたことで、見守り活動の大切さを痛感している」と、増山さん。
今後は、関係機関とも協力し、地域の皆さんが安心して過ごせるように見守り活動を特に強化していきたいと語られました。

解決のしくみ



福祉サービスの利用者や家族は、苦情を口に出して言えないことがあるかもしれません。
西海市社協では、利用者からの苦情や要望に適切に対応するため、各事業所に苦情解決担当者をおき、苦情解決に努めています。
また、利用者から苦情の内容や経緯を聞き、中立・公正な立場で苦情解決にあたる「第三者委員」を設けています。なお、直接事業所の職員に言いづらい場合は、第三者委員にご相談ください。

【苦情申出窓口】

		(敬称略)	
苦情解決担当者	各事業所職員		
苦情解決責任者	各事業所管理者、事務局長(本所)		
第三者委員 (地域限定なし)	西彼地区	志田	かず子 和子
	西海地区	かわはら	きぬ子 絹子
	大島地区	みよし	ゆうじ 祐司
	崎戸地区	うねもと	かず一 馬
	大瀬戸地区	さかえ	ひろと 弘人

利用者からの声を受け止め、安心・安全のサービス提供を目指しています。
本会が行う福祉サービスについて、ご意見などがありましたらお申し出ください。

声を受け止める サービス向上のために





グルーピングの様子。活動内容や被災者のニーズをグループ全員で確認します。

3月15日、西海総合福祉センターで標記研修会を開催しました。近年、全国各地で大規模な自然災害が頻発しています。災害ボランティアセンターは有事の際に、復旧・復興を支える重要な拠点となります。

西海市で大規模災害が発生した場合、災害ボランティアセンターを設置。①ニーズの受付②ボランティア受付③オリエン

テーション④マッチング⑤グルーピング⑥資材の貸出・送迎⑦救援活動⑧活動報告」となります。

本訓練の目的は、社協職員の運営スキルの向上と地域ボランティアとの協働体制づくりと連携を図ること。平時から自分に何が出るのかを考え、災害時に冷静な判断ができるように準備することが住民の生活再建に繋がる、訓練を通して参加者の皆さまと確認しあうことができました。

活躍中のスケッターさんにお話を聞きました

活動施設：原爆ホームかめだけ（西彼地区）



富永 美加さん

他にも何ヶ所かスケッターをしています。家事や子育てをしながら、すきま時間にできるスケッターは、とてもありがたい。自分の空いている時間はスケッターをマッチングして、沢山参加しています。

お茶パックに茶葉を詰める作業をお手伝い。



4月から新社会人、作業療法士として病院に入職する前に、福祉の現場を体験してみたいと思っていました。たまたま、スケッターをチラシで知り登録しました。とてもいい経験ができました。



矢吹 佳奈さん

資格や経験が無くてもできる、身体介助のないお手伝いをしたい地域住民と、医療福祉施設を謝礼付きボランティアとしてマッチング。皆さまも、すきま時間にスケッター始めてみませんか。

【問合せ先】
西海市社会福祉協議会
☎29-4081

登録と検索
はこちらから



有料広告

〈見積無料〉

仏壇・仏具の販売・製作・修理・移設・処分など、お気軽にご相談ください。

池田仏具店

西海市西海町七釜郷567-29
電話・FAX 0959-33-2123



この春

「福祉総合講座」はじめてみませんか？

～令和8年度「福祉総合講座」のご案内～

社協では、自ら学びながら生きがいと心豊かなふれあいの輪を広げようと、昭和59年から「福祉総合講座」を開いており、今年度で42年目を迎えます。福祉総合講座は誰でもいくつでも受講できますので、お気軽にご参加ください。

●期間：令和8年4月～令和9年3月

●場所：崎戸社会福祉センター（崎戸町蛸浦郷1393番地15）

【囲碁科】講師：浦 理先生

毎週火曜日/13時～17時
毎週木曜日/18時～21時

奥深い碁のルールや手筋などを基礎から学び、楽しく対局します。



【手話科】講師：渡木 アヤ子先生

第1火曜日/
10時～11時30分

手話の基礎知識や挨拶、自己紹介、手話コーラスを楽しみます。



【健康体操科】

毎週水曜日/19時～20時

肩こり・腰痛等でお悩みの方、健康増進のために体を動かしませんか。



【フラダンス科】講師：山本 静子先生

第1～4水曜日/
13時30分～15時30分

音楽に合わせて詩の意味を体で表現します。



【大正琴科】

第2・4月曜日/
10時～11時30分

昔懐かしい音色で童謡など親しみやすい音楽を演奏。大正琴は準備してあります。



【書道科】講師：崎谷 恵先生

第1・3木曜日/
13時30分～15時

硬筆、小筆、大筆練習します。
初心者大歓迎!!



- 講師の先生方は地域のボランティアです。
- 「こんな講座を開催して欲しい」などのご要望がありましたらご相談ください。講師や開催日程が整い、新規に開催する場合はお知らせします。

見学希望の方もお気軽にお電話ください。

【申込み・問合せ先】

西海市社協 崎戸支所 ☎35-3555

すくらむ発行は奇数月です


お困りではありませんか？
法律問題 相談無料
ご相談 ください
 要予約

借金や離婚、土地、遺産相続など法律上のお困りではありませんか。暮らしの困りごとを解決するため、弁護士がご相談に応じます。※状況によっては、リモートでの相談となります。

◆ **6月18日(木)** 相談時間 13時～17時
 場所：西海総合福祉センター
 西海町黒口郷 1477 番地 1

◆ **7月16日(木)** 相談時間 13時～17時
 場所：西海市社協 大瀬戸支所
 大瀬戸町瀬戸板浦郷 920 番地 12

予約先
 西海市社会福祉協議会
電話 29-4081



**生活や仕事のことで困ったときは
 ひとりで悩まずご相談ください**

生活のこと

- 収入が不安定で生活費のやりくりで困っている
- 借金や滞納金が多くてどうしたらいいかわからない

仕事のこと

- 仕事をしたいがなかなか決まらない
- 仕事が長続きしない
- 失業した

相談室直通電話 相談無料 秘密厳守

☎080-6557-9533

西海市生活支援相談室 (社協大瀬戸支所内)
 西海市大瀬戸町瀬戸板浦郷 920 番地 12
 相談日：月曜日～金曜日 (8:30～17:30)
 E-mail:soudan@shakyo-saikai.jp



**ファミサポさいかいより
 会員募集のお知らせ**

会員登録をご希望の方は、お近くのファミリー・サポート・センターさいかい（西海市社会福祉協議会）へお申し込みください。(入会費・年会費不要)

依頼会員

市内在住で生後3ヶ月～小学6年生のお子さんを持つ保護者の方。

→事業の仕組みと活動についての説明を受けていただきます。

提供会員

市内在住で心身共に健康で、積極的に子育ての応援をしたい、20歳以上の方。

→センターが実施する講習会の受講が必要です。

受付時間・・・(平日) 9:00～18:00

**【問合せ・申込先】※来所前に必ずお電話ください
 ファミリー・サポート・センターさいかい
 電話 (FAXも同じ)：34-2139**

ご寄付・お礼

○2/18、4/15受付分

社会福祉事業資金として次の方々から心温まる善意の寄付をいただきました。地域福祉活動などに大切に活用させていただきます。

皆さまのご厚情に心から感謝申し上げます。
 なお、本会への寄付金は税額控除の対象となります。

◆ 山崎秀勝様 (故 杉本シナ様)

◆ 中尾芳子様 (故 繁山秀之様)

◆ 大島町

◆ 百岳厚子様 (故 一彦様)

◆ 鶴崎康司様 (故 文代様)

◆ 大瀬戸町

◆ 宮崎勲様 (故 一枝様)

▽ 忌明寄付

◆ 西彼町

◆ こむかえこども園様

◆ 崎戸町


◆ 匿名希望

◆ 大瀬戸町

◆ 匿名希望

▽ 一般寄付

◆ 匿名希望



編集後記

八十八夜も過ぎ、新茶の美味しい季節になりましたね。この時期になると、ご近所や親戚一同総出で茶摘みをしていた昔を思い出します。釜で炒り、ゴザの上で揉むことを繰り返す作業を手伝っていたのか、邪魔していたのか、幼い頃の自分。固い葉や枝まで摘んで混ぜてしまい祖母に怒られたことも今では懐かしい思い出です。

皆さまも爽やかな風を感じながら、初夏の香りに癒されてみませんか。

(K)